

わたしの「好き」が、
この地球のLifeを
よりよいものに変えていく。



■ 2026年度 5期生募集〈応募要項〉

あなたが夢中になれる“何か”を切り口に、この地球の「Good Life(生命・生活)」を叶え、地球の未来につながるアイデアを抱く人を募集します。

● 対象者

当プログラムのコンセプトに共感し、挑戦したいという意志をもつ、全国の高校生・高等専門学校生および大学1-2年生、またはそれに相当する年齢の方。

● 応募資格

- 応募年度末時点の年齢が原則として満16歳以上22歳以下であること
- 日本語を用いたコミュニケーションが可能であること
- オンラインの面接や講義等にアクセス可能な環境があること
- 保護者の同意を得ていること
- 9月19日(土)～9月21日(月・祝)キックオフ合宿への会場参加が可能であること(場所|東京大学 弥生キャンパス・本郷キャンパス予定)
- 東京大学の研究室に参加して研究開発を行うことができる見込みであること

※応募の際は、WEBサイトより応募における注意事項をご確認ください。

● 選考基準

以下の観点を踏まえ、書類選考およびオンライン面接を経て総合的に判断します。

Creative 創造的 | Edgy エッジの効いた | Original オリジナル | Proactive 能動的・自発的 | Passionate 挑戦への熱い想い

● 応募時提出物

以下の項目について、フォームよりご回答ください。

● あなたの「好き」は何ですか？(200文字程度)

ここでの「好き」には、あなたが夢中になり情熱を傾けていることや、どうにかしたいと引っかかっていることも含まれます。

● その「好き」を切り口に、地球の未来につながる

どんなアイデアを抱いていますか？(500～1000文字程度)

● アイデアのタイトルは何ですか？(40文字程度まで)

● これまでに行動したことは何ですか？

アイデアを検証したり実行に移すために、これまでに自身が実際に行動したことがあればご記入ください。

● Good Life on Earthに参加して取り組みたいことは何ですか？

Good Life on Earthの環境だからこそできると思うこと、挑戦したいことを教えてください。

● 添付資料(任意提出)

イラスト・写真・動画など

■ 募集スケジュール

応募期間

2026年5月12日(火)～6月9日(火)

書類選考結果通知

書類選考の結果は2026年7月2日(木)に通知する予定です。オンライン面接を実施する方には、あわせて面接日時もご連絡します。

オンライン面接

2026年7月9日(木)～7月14日(火)

最終結果通知

2026年7月24日(金) 予定

キックオフ合宿

2026年9月19日(土)～9月21日(月・祝)

場所|東京大学 弥生キャンパス・本郷キャンパス等
(2泊3日の合宿形式で行います)

■ 説明会

○日程 | 2026年5月24日(日) 14:30～16:00

○会場 | 東京大学 弥生キャンパス フードサイエンス棟
中島董一郎記念ホール (遠方の方はオンラインもあります)

○参加登録 | 2026年5月21日(木) 締切

5期生応募・説明会 詳しくはこちら▶

www.one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp/gle/apply/



FAQ

・分野は限定されますか？

A.いいえ。プログラムの環境を活かして追求したいと思うことであれば、限定されません。

・関東周辺に住んでいる人が対象になるのでしょうか？

A.全国が対象です。交通費のサポートやオンライン参加も組み合わせながら、関東圏外の方も参加されています。

・サポートはいつまで受けられますか？

A.プログラムの在籍期間は、採択された年度を1年度目として3年度目の末日までとしています。

(例)2026年度採択の場合:2026年9月～2029年3月末



お問い合わせ

Good Life on Earth 事務局
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学 大学院農学生命科学研究科・農学部
One Earth Guardians育成機構
Email: Goodlife_on_Earth@one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp

2026.04



— 高校生・大学生対象
アイデア実現支援プログラム



Good Life
on EARTH

すべての生命が共存できる

地球のために。



「好き」を伸ばして
地球を救う

共に学び合うフィールド



ONE EARTH GUARDIANS



主催 | 東京大学 One Earth Guardians育成機構 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金

5期生募集

2026年5月12日(火)
～6月9日(火)

Good Life on Earthプログラムとは

Good Life on Earth (GLE)は、自分自身が夢中になれる“何か”を切り口とした、地球の未来につながるアイデアを抱き、その実現に向けて自ら挑戦する高校生・大学生を応援する新しい仕組みです。

Lifeには「生命」と「生活」の二つの意味があります。

この地球のLifeをよりよいものへ変えていくために、東京大学 One Earth Guardians育成機構とトヨタ・モビリティ基金は、「好き」を伸ばして地球を救う 共に学び合うフィールドを創ります。

自由に、そして科学的に正しく
考える力をつけよう。

五十嵐 圭日子 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
プログラム全体統括

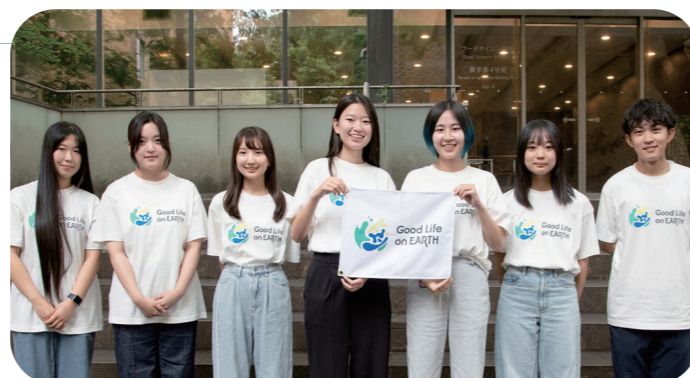
自分がやりたいことに、真剣に、
楽しく取り組んでほしい。

石川 貴規 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金
事務局長

プログラムの3つの特徴

01 光るアイデアを持つ若い世代が主役

自身が夢中になれる“何か”を切り口とした地球の未来につながるアイデアを持ち、その実現に情熱を燃やす若者たちを選抜。採択された方は、約2年半の間「プレイヤー」としてプログラムに参加します。



02 アイデアの実現を全力で応援する体制



東大教授らのメンタリング・
伴走スタッフのサポート



大学の設備・環境や
専用ラボを利用可能



活動費用のサポート

メンター



五十嵐 圭日子
東京大学
大学院農学生命科学研究科/
プラネタリーヘルス研究機構
教授



上田 泰己
東京大学
大学院医学系研究科
教授



潮 秀樹
東京大学
大学院農学生命科学研究科/
プラネタリーヘルス研究機構
教授



浦野 泰照
東京大学
大学院薬学系研究科/
大学院医学系研究科
教授



後藤 由季子
東京大学
大学院薬学系研究科/RCN
教授



杉山 将
東京大学 大学院新領域創成科
学研究科 教授/理化学研究所
革新知能統合研究センター
センター長



高橋 伸一郎
東京大学
プラネタリーヘルス研究機構
特任教授



竹内 昌治
東京大学
大学院情報理工学系研究科
教授

リサーチアドバイザー



田端 和仁
東京大学
大学院工学系研究科/
プラネタリーヘルス研究機構
准教授



野地 博行
東京大学
大学院工学系研究科
教授



茅 元司
東京大学
大学院理学系研究科
助教



渡邊 壮一
東京大学
大学院農学生命科学研究科
准教授

03 ともに触発し合うコミュニティ

切り口やアプローチは異なっても、それぞれ“Good Life”を目指す同志が集まり、その実現を応援する人々も含めた新たなつながりを生み出して、互いに刺激しあう学びあうコミュニティを形成していきます。

合宿スタイルでキックオフを実施するほか、全員が参加するセッションを随時開催します。また希望者に、当プログラムのパートナー HLABが運営するレジデンシャル・カレッジ「SHIMOKITA COLLEGE」に居住する機会を提供。暮らしながら学びを得ることができます。

それぞれの「好き」を追求するプレイヤーたち

ファッション、食、音、デザイン、ワカメ、昆虫、クマムシ、酵素...それぞれのテーマで研究を行っています。



Player's Voice
1期生 | 谷垣 聡音さん

Q.なぜGLEに応募しましたか?
未来について分野を越えて議論できる同世代と出
会いたかったのがきっかけです。

Q.実際に入ってみてどうでしたか?
想像以上に自由度が高く、正解のない問いを考え
続けられる刺激的な場でした。

Q.GLEはどんなコミュニティですか?
同世代だけでなく大学院生や教授とも分野や立場
を越えて議論できるフラットなコミュニティです。



Player's Voice
2期生 | 中桐 真珠子さん

Q.なぜGLEに応募しましたか?
培養肉に興味を持ち、高校の探究活動で研究を進
めていたのですが、設備や資金に限界があり、GLE
に応募しました。

Q.実際に入ってみてどうでしたか?
当初想定していたよりもかなり手厚いプログラム
で、自分の好きなことをこまごまのびのびとやらせ
てもらえることに驚きました。

Q.GLEはどんな人におすすめ?
地方にいて十分な支援を得ることができない人に
おすすめしたいです。GLEは遠方の人に寄り添って
くれます!



Player's Voice
2期生 | 田中 美羽さん

Q.GLEはどんなコミュニティですか?
信頼感が厚いです。困っているとき手を差し伸べ
てくれ、メンター、プレイヤー、スタッフそれぞれが
良い熱を持ち込んでくれます。

Q.自分の成長につながった体験や経験は?
実験計画、資料作成、先行研究を調べる時に、目的
を意識してできるようになりました。客観的な視点
を持てるようになったと思います。

Q.GLEはどんな人におすすめ?
「どうしてそこが気になるの?」と他の人に言われて
しまいそうなことを、自由にやってみたい人にす
すめです。

活動の流れ

●プレイヤーはメンターらとのアイデアブラッシュアップを経て、自ら手を動かす段階に進みます。



●個々の活動と並行して全員参加型セッションにも参加しながら、それぞれのアイデアを深めていきます。

2025年度の例

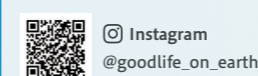
- 2025年9月 ・4期生キックオフ合宿
- 2025年10月 ・HONE「モノづくりに触れて、『やってみよう!』を広げよう」
- 2025年11月 ・Field Trip in 糸島
- 2025年12月 ・中間発表
・HONE「科学&アート/発表ポスター制作ワークショップ」DAY1
- 2026年1月 ・HONE「科学&アート/発表ポスター制作ワークショップ」DAY2
- 2026年2月 ・HONE「研究デザインワークショップ」
・VISION PAPERの提出
- 2026年3月 ・年度末プレゼン
・CROSS「企業の研究者に会おう」

※企画やスケジュールは年によって変動します。
※プログラムの在籍期間は、採択された年度を1年度目として3年度目の末日までとしています。
(例)2026年度採択の場合:2026年9月~2029年3月末



BUMP:とがった先達に出会い、衝撃を受ける講演とディスカッションスタイルのセッション
CROSS:互いに交わり、学びあい、響きあうハンズオンワークショップ
HONE:知を得て、技を磨くサブリメンタルセミナー
Field Trip:普段の環境をはなれて対話や五感を通じた体験をし、新しい視座を得る

活動の様子は各SNSでも
発信しています。
ぜひフォローしてご覧ください!



WEBサイト: www.one-earth-ga.u-tokyo.ac.jp/gle/